

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH WEEKLY



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：山田 安隆 幹事：大村 精二

会報委員長：清水 忠

1975・5月29日

第41号



“現代お母さんの忘れ物”

海会寺住職 北出紫月師

或る時、私の寺へ見学に来た子供たちの弁当を見て驚いた。

およそ母親が手塩にかけて作ったとは思われない、仕出屋製の豪華なご馳走で一杯ではないか。

その昔は、一握りのにぎり飯に、梅干・沢庵だけの質素な弁当であった。しかし、その飯たくかまどの前で、或はそのにぎり飯握る囲炉裏の傍で、母が聞かせる民話や伝承は、子供たちに無限の夢と希望を育んだ。

物は貧しくとも心の豊かな人間関係の中で、情緒豊かに育まれて来た昔の子供たち。

物は豊かでも心のつながりのない断絶の中で、冷たく育まれている現代の子供たち。

私はそこに、機械文明が人間に何か忘れ物をさせた現代の悲劇を見る思いがする。

—金沢北RC例会卓話より— (文責 清水 忠)



卯辰山碑林散歩 (15)

— 鶴 杉 川 柳 碑 —

玉兎ヶ丘の一隅、つつじの花咲く中に真新しい一基の句碑が立っていた。

碑面には

“暁を 抱いて闇にみる 蕾、

とあり、反骨の川柳作家鶴杉が昭和11年発表した反戦の句、何れ平和が必ずや来るという確信を詠みこんでいる。

杉は本名喜多一二、明治42年高松町の出生、29才で不遇の中に夭折した。

川柳の句碑は全国でも珍しいといわれる。

私の抱負

次年度会長 越野民男

「伝統を誇る金沢、東、西、南ロータリーの名を汚さない様なクラブを、果して新しく作る事が出来るだろうか。」昭和48年10月3日、当クラブの創立に際し吾々直接のチャータメンバーだけでなく恐らく金沢市の全ロータリーアンが抱いた疑問点であったろうと思います。兎に角全員無我夢中で頑張りました。

かくて、1年7ヶ月私は金沢北RCは決して先輩四クラブの名を汚さぬ迄に成長したと信じて居ます。然し人生は、マラソン競走と言われます。出発点の勝者は決勝点の勝者とは限りません。五里霧中で飛び出した吾々北RCも今一度原点に帰り、ロータリー自体を吾々の行動自体を見直す必要があると思います。今回私が第二代会長を余儀なくお引き受けするに際し、会員の皆様にこの事を深く要望いたします。

「学ばん真のロータリー精神、進めん真のロータリー活動。」今尚不況の余波の荒れ狂う年度の会長であり且つ、創立来1年半の北RCの次期会長として、次年度は華々しい新事業に取り組む事よりもクラブ内容の充実に全力投球して行き、之を次の年の新しい出発の礎にしたいと思います。かかる主旨のもとに各委員会別に私の私案を發表致します。尚、これは先日の新理事会である程度承認された事項ですが、今後これを叩き台として各委員会毎に、更に深く御見当され6月下旬迄に、各委員会の次年度行動要案を作って頂きたいと思ひます。

「例会委員会」ロータリーから例会を除けば何もないと言われて居り、本年度のガバナーも例会に重点を於かれる様に思ひます。

当クラブ例会は、浅田君の尽力により誠に立派であり、且つ非常に和やかだと言う評判を耳に致しますが、更に次の諸点を考えてみては如何でしょうか。

イ) 点鐘前30分を有効に生かす。ピジターの方が会員よりも出席が早いとよく聞きます。次年度は時間の許す限り12時頃に出席し開会前30分を愉快に過す。時には此の時間を利用し、クラブアッセンブリーの様な討論会も如何でしょうか。許されれば、会場以外に待合室(ロビー)の設定も一案かも知れません。

ロ) 食事と卓話を逆にする試みを1、2回テストケースとして行い良否を判断するのも面白いと思ひます。

ハ) 昨年8月15日のお盆早朝例会、マイヨール展例会のようなチャンスをとらえた変わった思考の例会の設定。

「親睦委員会」勝れた親睦会こそ、会員のロータリーの魅力を高め、クラブの団結を強固に致します。

イ) 家族会、特に夫人を交えた夜の例会は意義あります。金銭をかけなくても財源の許す限り和やかな会合をもつ事は、お互いの知り合いの場となり、年に1、2回行っては如何でしょうか。

ロ) 会員夫人の集いをもって居るクラブもありますが、その良否を見当して下さい。

ハ) 時々会員の家庭訪問を数人で行う習慣づけるのも、クラブの基礎造りには大事です。

ニ) 日曜日を利用したバス旅行も面白い企画です。

「企画委員会」

イ) 卓話者の選択は誠に困難ですが、現行の委員会別割当制はよいと思ひます。

ロ) 会員自身の卓話は、夫々の自己紹介にもなり、話術の勉強更に、卓話会員のロータリー熱元の拍車にもなり、今後も実行すべく努力しましょう。

ハ) 職業奉仕委員会と協同し最近の不況対策、従業員問題等々を論ずる夜の例会を作るのも有意義であり、一業種一人のロータリーにとって生きた勉強会になると思ひます。

ニ) ロータリーの友、ザロータリーの内容紹介は例会又は例会前の30分の中で生かすべきです。

「修練委員会」

イ) ロータリーの勉強は必要であるが、現実行い難いものであり、常に例会前、又は例会中に挿入すべきである。

”ロータリーの精神を振るい起こせ”

ロ) 次年度当クラブがホストとなるICGFはこの委員会が中心となって計画してほしいと思います。

「拡大委員会」

毎年10%増強が目標と言われて居るが、量よりも質であると思います。会員全部に新会員掘り出しに熱意を持たず様PRし、義務感を持って下さい。テリトリーに関係あるJCメンバーに目をむけるべきです。

「情報委員会」

清水会員の卓越した技量により誠に充実して居るが、今后は特に後継者育成に留意してほしいと思います。

「社会奉仕委員会」

ロータリー梅林は当クラブの立案に基くものであるが、これが完成に努力する事は勿論であるが、特に我が例会場卯辰山の梅林でもありこの維持保存に献身すべきです。

「職業奉仕」

昨年の職業奉仕委員会の活動は誠に立派であり、特に「お、ロータリアン」の発刊は全国ロータリーの注目する所でした。

「国際奉仕」

今年度はベルギーへ会員の家族の体験旅行、或いは金沢市内在住のアジアの留学生を例会に招く等を考えております。

次年度役員理事 (1975.7.1~1976.6.30)

役員	会長(理事)	越野民男	理事	岡田林太郎	山岸与作
	副会長()	宗田市太郎		高田全	吉田昭炳
	幹事	浅田豊久		土原一二	柴田三郎
	副幹事	平尾信明		釣見栄一	大村精二
	会計	上次作		大場勝雄	
	会場監督	釣見栄一		清水忠	
	直前会長	山田安隆		長野幸雄	

委員会

委員会	社会奉仕	国際奉仕	職業奉仕	例会	拡大	企画	情報	親睦	修練
内容	社会奉仕 青少年 都市安全 自然保護 ロータリー 梅林	国際奉仕 ロータリー 財団 米山記念 奨学会	職業奉仕 四つの テスト	出席 ニコニコ 会場監督	会員選考 会員増強 職業分類	プログラム クラブ細則	会報 報誌 雑 クラブ歴史	会員の親睦 家族の親睦 他クラブの 親睦	ロータリー 情報 ターゲット
委員長	岡田林太郎	高田全	土原一二	釣見栄一	山岸与作	大場勝雄	清水忠	長野幸雄	吉田昭炳
委員	泉武義 岡部三郎 小杉善二	若野三郎 庄田厚郎 東元潔	山上啓介 小杉守男 米沢繁男	依外代吉 本江他美夫 塩村喜代次 上次作	木田忠男 山田淳 由井賢一	笠間恒次 中村省三 木島光仁	米沢修一 吉山宥海 小林隆二	大海徳二 加藤悦大 桜井健太郎	柴田三郎 松本智 大村精二

